

原 野
gile
野 野 野



外 務 省

局長	野
主任	
課長	
1	
2	
3	
4	
5	
1	
2	
3	
4	
5	
1	
2	
3	

経協技第1117号

昭和43年9月25日

在大韓民國大使 殿

秘密指定解除
公文書監理室

外 務 大 臣

韓国に対する医療協力の実施について

1. 6月8日付往信経協技第62号に関し、さる6月24日より約2週間にわたって貴任国へ派遣した医療協力実施調査団より、調査報告（報告書別添）とともに、瘧対策については吉田富三団長と韓国文教部高等教育局長との間で署名された討議録が、また寄生虫対策については大鶴正清団長と韓国保健社会部公衆衛生局長との間で署名された討議録（いず

れも写別添)がそれぞれ提出された。

2. わが方としては、関係機関とも協議した結果韓国政府において上記両討議録の内容に異存がないことを前提として、コロンボ計画に基づき、韓国に対し本年度海外技術協力予算をもつて可能な範囲の医療協力を行ないたいと考えている。
3. この場合、協力の方法としては、上記討議録に沿つて、実施可能な部門から順次実施に移すことを考えており、とりあえず韓国側関係者、技術者をわが国に受け入れ、痛対策又は寄生虫対策に対する日本国内の実情視察、供与機材に関する視察と打合せあるいは研修等を行なわせることを考慮している。
4. ついては、韓国政府部内において、上記両討議録に対し、如何なる措置がとられているか(要すれば口上書をもつて先方の意向を確認するのも一案かと考える)調査報告するとともに、もし韓国政府において両討議録の内

容に異存がない場合は、上記3についてはわが方としては癌対策3名、寄生虫対策3名を受け入れる用意があるので可及的すみやかにA2、A3フォームによる正式要請を行なわせるより指導ありたい。

5. 供与機材については、韓国側関係者の来日をもつて、わが方関係機関、専門家等と打合せの上決定するべきものと考えているが、本年度分予算として癌対策関係に約3,500万円、寄生虫対策関係に約1,000万円を考慮している。(金額については貴使お含みまで)

なお、機材については、わが方はこれのみを別個に供与することは考えておらず、専門家派遣、研修員受入れと組み合わせ実施するものであり、念のため。

付 属 添 付